

平成30年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第10号

平成30年9月6日発行

宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-n/kesennumanoukai.html>

今回のポイント

- 平成30年産米は出穂期が平年より早まったため、収穫適期も早まります。
- 適期刈取りと適正な乾燥調製で良質米を生産しましょう。

1 管内の出穂状況（8月17日現在）

- 8月17日現在、管内の出穂の進行率は98.5%となっており、8月4日に出穂期（50%）、8月11日に穂揃期（95%）を迎えました。

表1 管内の出穂状況

水稻作付 見込面積 (ha)	8月17日現在 出穂状況		進行月日			(参考)平成29年度		
	出穂面積 (ha)	進行率 (%)	出穂 始期	出穂期	穂揃期	出穂 始期	出穂期	穂揃期
910	896	98.5	8/1	8/4	8/11	8/2	8/7	8/15

注1) 出穂始期,出穂期,穂揃期は,それぞれ水稻作付見込面積の5%,50%,95%以上が出穂した日である。

注2) 平成30年度作付見込面積は,農産環境課でとりまとめた主食用米の作付見込面積を用いた。

2 生育調査の生育状況（出穂25日後調査）

- 本吉ひとめぼれの出穂期は平年より5日早い8月2日となりました。
- 本吉ひとめぼれの稈長及び穂長は平年並、穂数はやや少なくなっています。

表2 出穂25日後調査結果

		出穂期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	1穂 籾数(粒)	m ² 当籾数 (百粒)	主稈 葉数(枚)	止葉葉色 (GM)
ひとめぼれ	本年	8/2	75.2	17.8	403.4	52.6	212.2	11.9	26.6
気仙沼市(本吉町)	平年比・差	-5	99%	99%	84%	92%	78%	-0.5	-2.6
ひとめぼれ	本年	8/2	75.3	16.1	438.6	47.0	206.1	12.4	24.0
南三陸町(志津川)	平年比・差								
だて正夢	本年	8/6	77.0	20.0	329.2	72.8	239.7	12.3	31.6
気仙沼市(本吉町)	平年比・差								

注1) 平年は平成25年から平成29年までの5か年の平均値。

注2) 志津川ひとめぼれは本年度から、だて正夢は平成29年から調査開始のため平年値はなし。

3 気象の概況

- 7月上旬以降は概ね高温傾向で推移しましたが、7月中旬、8月上旬、8月中旬は一時的に低温となった時期もありました。

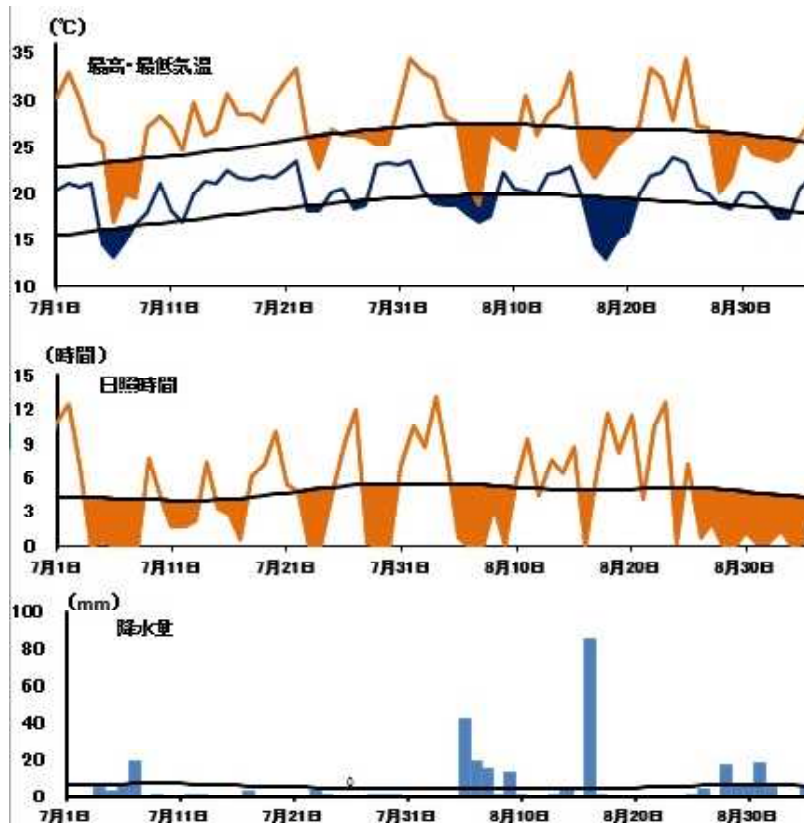


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：7月1日～9月5日）

4 今後の管理の留意点

【水管理】落水時期は出穂後30日前後としましょう。

- 刈取り作業を容易にするため、早めに落水する傾向がありますが、早期落水により整粒歩合が低下します。品質向上のため、排水良好ほ場では落水時期を出穂後30日前後としましょう。

【適期刈取】

- 出穂期、 m^2 当たり籾数などの違いにより登熟の進展の差が大きくなると考えられますので、ほ場ごとに籾の熟色をよく観察して刈取適期を判定し、早刈り・刈遅れに注意しましょう。以下の刈取り適期の目安を参考に、適期収穫を行いましょ。

① 籾の熟色と穂軸の色

籾の80～90%程度が成熟して黄化籾となり、穂軸が先端から3分の1程度まで黄色になれば、刈取り適期に達したと判断できます。

全ての籾が黄色になるまで待つと、刈遅れとなり玄米品質が低下します。穂の下部にわずかに緑色の籾が残っている程度でも刈取りを開始してください。

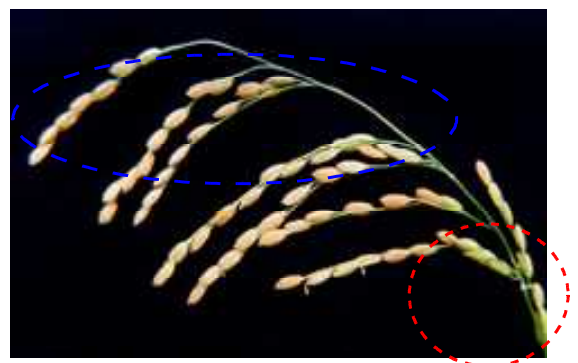


図2 刈取り適期の熟色

ひとめぼれでは、平均的穂数株(枝梗数8)の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます。

- 成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始（籾黄化半定開始）
- 成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ黄化(90%)（7日以内で刈取り早限）
- 成熟段階Ⅲ：第1位籾が殆ど黄化し(95%)、第2,3位籾が黄化開始(刈取り早限)
- 成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2,3位籾が30%黄化(積算気温1000℃程度)
- 成熟段階Ⅴ：第2,3位籾が50%以上黄化(刈取り晩限)

刈取適期

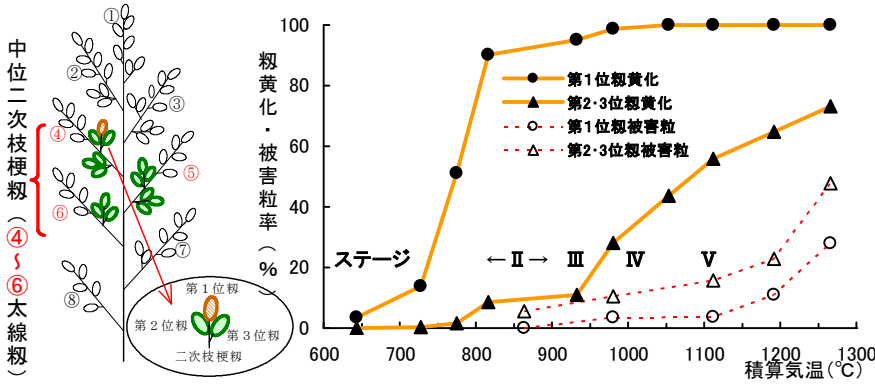


図3 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

図4 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

②出穂後の積算気温による目安

- ・出穂後の積算平均気温からみた刈取適期の目安は「ひとめぼれ」では940℃～1,100℃となります。
- ・積算平均気温1,100℃超過（刈遅れ）では、食味・品質が確実に低下します。刈取適期内であってもできるだけ早く刈り取りましょう。
- ・㎡あたり籾数が少ないと刈取適期は早まりますが、籾数が多くなっても刈取晩限はあまり遅くならないので注意しましょう。
- ・倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫しましょう。

【刈取適期の目安】刈取適期は気仙沼9月19日頃、志津川9月17日頃（8月3日出穂期）。

- ・積算平均気温からみた刈取適期予測は、表3のとおりです。
- ・出穂期が8月3日の場合、刈取適期は気仙沼9月19日、志津川9月17日、刈取晩限は気仙沼9月24日、志津川9月23日と予想されます（表3）。

表3 出穂後の積算気温からみた刈取り適期の目安（9月5日現在）

アメダス 地点	基準温度	出穂期					
		7/31	8/3	8/5	8/10	8/15	8/20
気仙沼	940℃	9/11	9/14	9/18	9/23	10/1	10/7
	1,000℃	9/14	9/19	9/21	9/27	10/4	10/11
	1,100℃	9/20	9/24	9/26	10/3	10/11	10/18
志津川	940℃	9/10	9/14	9/17	9/22	9/30	10/6
	1,000℃	9/13	9/17	9/20	9/26	10/3	10/10
	1,100℃	9/18	9/23	9/25	10/1	10/10	10/17

注1) 気温の概算値は9月5日までは実測値、9月6日以降はアメダス平年値を使用した。

注2) 出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日からの積算気温が940℃（「ひとめぼれ」の刈取早限）、1,000（同刈取適期）、1,100℃（同刈取晩限）を超えた日とした。

【収穫作業】

- コンバイン収穫は収穫時の籾水分が高いと籾や玄米が損傷し、胴割粒等が増加し品質低下の原因になります。籾水分は25%以下を目安に刈取りを行いましょう。
- 複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。

【乾燥作業】

①コンバイン収穫籾の搬入と乾燥

- 倒伏した稲や水口周辺の成熟期の遅れた稲は籾水分が高いため、これらの稲については収穫時期や籾袋を別にし、他の籾に混ぜないで乾燥しましょう。
- コンバイン収穫した籾の水分は20%以上の場合が多く、籾袋やグレインタンク内に長時間放置すると色沢や内部品質が低下します。収穫した籾は速やかに乾燥機に張り込み、水分が規定量になるまで常温通風と循環を行いましょう。

②乾燥温度

- 送風温度が低すぎると乾燥能率が低下し、高すぎると胴割れや光沢不良、食味の低下を招きます。送風温度は張込量、送風機の風量、籾の循環速度によって乾燥機ごとに適正範囲が異なります。適正範囲を確認して乾燥を行いましょう。

③過乾燥の防止

- 過乾燥は胴割れ粒の増加や光沢の低下による品質低下、食味低下を招きやすくなります。こまめに水分を測定し、適正な送風温度を遵守して過乾燥を防止しましょう。

④二段乾燥

- 倒伏した稲や未熟粒の多い籾は水分の高い籾が混入しているため、全体の水分が高く、水分のバラツキも大きくなります。このような場合は、二段乾燥を実施しましょう。
- 二段乾燥は、高水分籾等を乾燥する際に籾水分が18%程度になったところで火力乾燥を停止し、一定時間通風乾燥して貯留します。精籾と青籾や未熟粒の水分差が籾間移動で縮まり、20～30時間後に安定したところで二次乾燥を行います。
- 二次乾燥終了後は、余熱によって0.7%程度乾燥が進む場合がありますので、それを見越んで早めに乾燥を停止しましょう。

【調製作業】

- 使用するふるい目の大小は、玄米の外観品質を左右するばかりでなく、食味にも影響します。ひとめぼれやササニシキでは1.9mm以上（まなむすめは1.95mm以上）のふるい目を使うようにしましょう。

5 今後の気象

東北地方 1か月予報
(9月8日から10月7日までの天候見通し)

平成30年9月6日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは日照時間の少ない状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、東北太平洋側で低い確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	40	30	30
【降水量】	東北地方	20	40	40
【日照時間】	東北地方	40	40	20

<気象経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北太平洋側	50	40	10
2週目	東北地方	30	50	20
3~4週目	東北地方	30	30	40

<予報の対象期間>

- 1か月：9月8日(土)～10月7日(日)
- 1週目：9月8日(土)～9月14日(金)
- 2週目：9月15日(土)～9月21日(金)
- 3~4週目：9月22日(土)～10月5日(金)

【まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全】

秋の農作業安全確認運動 ～平成30年9月15日から11月30日まで～